

中小企業地域資源  
活用促進法に基づく



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

わが市町村の  
ふるさと名物は  
**これ!**

**滋賀県愛荘町**  
が応援するふるさと名物

「近江上布・近江の麻」の  
麻織物関連製品応援宣言





ふるさと名物  
Furusato Meibutsu

応援宣言

平成30年3月1日

## 滋賀県愛荘町

### 心ふれ愛・笑顔いっぱいの元気なまち

地域の  
プロフィール



愛荘町イメージキャラクター  
あしょうさん

愛荘町は、平成18年に旧秦荘町、旧愛知川町が合併して誕生しました。琵琶湖の東部の湖東地域に位置し、鈴鹿山系からの豊かな清水と自然に恵まれ、古くから水との関わりが深いまちです。この地形が農業をはじめとするさまざまな産業を発展させてきました。

おだやかな風が吹き、青い空が広がる春、太陽の光を受けて新緑のみどりがまぶしい夏、田園が小麦色に染まる秋、まっ白い雪景色に包まれる冬。彩り豊かな自然と、美しい水辺空間が愛荘町を囲んでいます。



滋賀県伝統的工芸品  
「愛知川びん細工手まり」



## 1

### 主な地域資源

#### ◆湖東麻織物（近江上布）

本町の主要な地域資源としては、近江上布が挙げられます。

昭和52年3月30日に、国の伝統的工芸品に指定された近江上布は、愛知川の豊かな水と高い湿度といった自然環境などにより室町時代から発展しました。

江戸時代には更に発展し、安定した地場産業となり、その頃から染めの技術も大きく進歩し、近江上布独特の上品な緋模様が生まれました。

明治時代に入り、麻布生産の産業構造が大きく変化し、近代化に伴う技術革新、生産組織の確立などを経て麻織物の産地として発展を続けてきました。

近江上布には緋と生平の2種類あり、緋は糸に緋模様を付けてから織りあげます。染色方法は型紙捺染、櫛押捺染という手作業による染色方法が用いられています。生平は大麻の手續糸を使用して地機で織りあげます。

本町にとって近江上布は、大切な伝統産業・地場産業であり、この産業を守るために「伝統技術の継承」や「後継者育成」の取り組みも始めています。



## 2

### ふるさと名物

#### ◆「近江上布・近江の麻」の麻織物関連製品

伝統の良さを守りながらも新しい技術を取り入れ、さらに質の高いデザイン性や感性を備えた地域ブランドとして「近江の麻」が生まれました。日本古来の素材苧麻(ラミー)だけではなく、明治中頃に普及した欧州の麻亜麻(リネン)の柔らかさと感触が現代人の感覚に合い、洋服、雑貨、インテリア、寝具などに使われ、現在はリネンが麻織物の生産の主流となっています。

「近江の麻」を通じて、広く多くの人々が麻織物を知り、日常的に使うきっかけになっていくことが、伝統工芸品「近江上布」を守っていくことにも繋がります。また、近江上布を気軽に日常的に使ってもらえるように近江上布の小物も作っています。

ハンカチ



敷パッド・ふとん



ブランケット



クッションカバー



ガーゼケット



近江上布がま口



近江の麻着物



## 2

### ふるさと名物

#### ◆ 「近江上布・近江の麻」の麻織物関連製品

近江上布や近江の麻を広めるために、他の伝統工芸品や地場産業とも協力し、新しい商品を開発しています。

##### 近江上布 × DESIGN SETTA SANGO

奈良県三郷町「雪駄」のDESIGN SETTA SANGOと滋賀県愛荘町「麻織物」の近江上布伝統産業会館が新しい極上の履物を作りました。

近江の麻織物(近江上布)を鼻緒にし、デザイン性が高く、はき心地にも強くこだわった雪駄です。



##### 近江上布 × 丸亀うちわ

香川県丸亀市「丸亀うちわ」と滋賀県愛荘町「近江上布」がコラボレーションし、伝統的工芸品でありながら、日常で手軽に使えるうちわが誕生しました。



##### 近江の麻 × 高島扇骨

滋賀県高島市の「高島扇骨」と滋賀県愛荘町の「近江の麻」がコラボレーションし、新しい扇子を作りました。



# 1

## 独自の支援策

### ◆ 地場産業育成事業活動事業補助金

地場産業の振興を図るために新商品の研究および伝統工芸品の普及宣伝に係る事業に対して支援をしています。

滋賀県麻織物工業協同組合は、この補助金を活用し、国内外の各種イベント等に参加し、「近江上布・近江の麻」の魅力を広く発信しています。



伝統工芸青山スクエアでのPRの様子



フランス・パリのショップ「Maison Wa」の「ESPACE DENSA」での機織り実演の様子

## 2

### 技術の継承

#### ◆織人プロジェクト

近江上布の手仕事の技術を後世に残すために、生平の技術習得を目指す研修生を募集し、伝統工芸士会と連携し、生産者（織人）を育成することに力を注いでいます。



手績み



地機



織人第1期研修生



## 3

### 広報・ タイアップ

#### ◆イベント・庁舎でのP R

庁舎にて近江上布の着物の展示や町外・県外・国外のイベントに参加し「近江上布・近江の麻」の魅力発信を行っています。

また、首都圏トップセールスにおいても麻織物の体験施設等の情報発信を行い、観光客の誘致にも努めています。



イベントでのPRの様子



近江上布着物展示  
(愛荘町役場愛知川庁舎ロビー)